

講義名称	市民参加論	担当教員名	橋本 将志
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	政治	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SOC116

授業のキーワード	市民参加、協働、地域社会
授業の概要	地方自治体では、選挙以外にも市民が政治や行政に参加する方法があります。市民参加は地域社会の抱える課題の解決に当たり、活用されてきました。各地の参加の事例に触れながら、市民参加の概要について講義します。
期待される学習成果 (目標)	1. 地方自治体への参加方法について学びます。 2. 地域社会の抱える問題とその解決方法について理解が深まります。 3. ボランティアやNPO等の「新しい公共」の担い手について理解できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	市民参加とは何か	授業のオリエンテーションと市民参加の歴史、市民参加が必要な理由について説明します。
2	地方自治体への参加①	パブリック・コメントなどの政策の形成段階での参加方法を説明します。
3	地方自治体への参加②	総合計画策定などの地方自治体全体に関わる政策の形成段階での参加方法を説明します。
4	地方自治体への参加③	住民投票などの政策の決定段階での参加方法を説明します。
5	地方自治体への参加④	公園の維持管理などの政策の実施段階での参加方法を説明します。
6	地方自治体への参加⑤	外部評価委員会などの政策の評価段階での参加方法を説明します。
7	都市計画への市民参加	都市計画やまちづくりへの参加方法について説明します。
8	環境政策への市民参加	環境パートナーシップなどの環境政策への参加方法について説明します。
9	社会福祉への市民参加	地域福祉計画などの社会福祉政策への参加方法について説明します。
10	地域再生への市民参加	地域再生や地域活性化における参加方法について説明します。
11	「新しい公共」と市民参加①	ボランティアやNPOの意義について説明します。
12	「新しい公共」と市民参加②	社会的企業、コミュニティ・ビジネス等について説明します。
13	熟議民主主義と市民参加	熟議民主主義や討論型世論調査等の市民参加な新たな動向について説明します。
14	市民参加を支えるもの	ソーシャル・キャピタルなどの地域社会や市民参加を支えるものについて説明します。
15	市民参加の未来	市民参加の未来について論じ、講義のまとめを行います。

定期試験	各講で解説するキーワードと市民参加の方法から出題します。記述問題も含みます。
評価方法	定期試験 (80%) と、授業内容に対するコメント等の授業貢献度 (20%) で評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	藤井浩司編『(仮) 地方自治の基礎』一藝社 (2017年出版予定) 併せてレジメと資料を作成、配布して進めます。
参考文献	片木淳他編『自治体経営学入門』一藝社 佐藤徹他編『地域政策と市民参加—「市民参加」への多面的アプローチ』ぎょうせい 塚本一郎他編『NPOと新しい社会デザイン』同文館出版